

緑のカーテンのつくり方

ゴーヤを例としてつくってみましょう

土づくり

- 市販の培養土を使用する場合は、袋から出して、そのまま使えます。
- 土を自分でつくる場合は、一例として赤玉土 50%、黒土 20%、腐葉土 10%、ピートモス 10%、パーミキュライト 10%の割合で使用します。肥料を入れて、よく混ぜ合わせたら完成です。
- プランターの底が隠れるくらいに鉢底石を敷きましょう。
- プランターの上端から 1～2cm 残して、土を入れます。十分にほぐしながら、ふんわりと入れましょう。

ポイント

育ちが良くなるために、毎年土を替えましょう。

種をまく (種から育てる場合)

- 種の尖った部分を爪切りやペンチで切って、水に一晩つけておきます。水に浮くものは発芽しにくいので、取り除きましょう。4月から5月上旬の間に行います。
- プランターを使用し、育てる場合は、1カ所に一晩水につけた種を、2～3粒ずつ、20cm 以上の間隔をあけてまきます。土を 1cm 程度かぶせて、水を多めに与えましょう。
- 10日ほどで芽が出てきます。発芽後は、根が腐らないよう、土の表面が乾いてから水やりをしましょう。
- 本葉が 2～3 枚になったら、元気な苗を残して間引きしましょう。莖が太く、節と節の間が詰まっている苗が元気です。

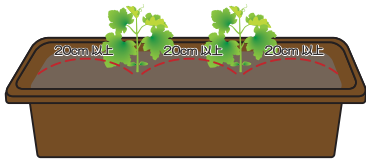
ポイント

間引きをする苗は、根元からハサミで切ると残した苗の根を傷つけません。



苗を植える

- 5月から6月上旬の間に植えましょう。
- 20cm 以上の間隔をあけて植えていきます (長さ 70cm 程度のプランターなら 2カ所が目安)。苗は、土がついている上部とプランターの土の高さが揃う深さを目安にして植えます。



ポイント

市販のポットから苗を抜くときは、莖の根元を持ち、ポットごとひっくり返し、プランターへ移します。傷つけないように気をつけましょう。

水やり

- 苗の成長が進んだら、1日1回程度、朝か夕方水やりをしましょう。プランターの下から水がしみ出てくるくらいが目安です。
- 真夏の日には、朝と夕方の2回、水やりをしましょう。

ネットを取り付ける

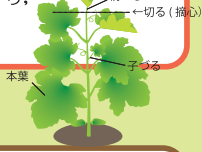
- つるが伸びる前にネットを張ります。
- ネットが苗より外側に来るように位置を決めます。
- ネット上下の両端には、支柱を横にして網目をくぐらせます。
- 上部は、壁や柱に釘やフックで固定する、サッシ枠にすだれ用金具などを取り付けて固定する、2階のベランダの柵に固定するなどの方法があります。
- 下部は、杭で地面に固定する、ブロックなど重いものに固定する、ネットの下端をプランターの下にくぐらせて、プランターを重しにするなどの方法があります。
- 支柱を地面やプランターに固定する場合も、ネットに横竿を 1～2 本通しておきましょう。

ポイント

葉が茂り、実がなると予想以上の重さになります。強風にあおられると危険ですので、ネットはできるだけピンと張り、しっかり固定しましょう。高い場所での作業は、足場を安定させ、安全に行ってください。

成長してきたら

- 親づるの先に日光がよく当たるように、ネットの外側へ導いてあげましょう。
- 子づるや孫づるが出たら、ネット全体に広がるように導いてあげましょう (誘引)。
- 50cm 程度つるが伸びたら (葉っぱ 7～8 枚の頃)、親づるの先を 2～3cm 切ります (摘心)。摘心を行うと、子づるや孫づるが横にも広がり、緑のカーテンになります。ネットの両端まで届いたつるも切りましょう。



肥料を追加する (追肥)

- 追肥は、最初の実が付きはじめた頃から与えます。
- 固形肥料を使用する場合は、プランターの隅に浅い溝を掘ってまき、埋め戻しておきます。効果が比較的長持ちするので、1カ月に1度程度で十分です。
- 液体肥料を使用する場合は、週に1回程度必要です。必ず決められた使用量や使用方法を守りましょう。

ポイント

この時期になると、土が硬くなっています。表面を軽く耕してふんわりさせましょう。新鮮な空気を取り込めるようになります。

開花・受粉

- ゴーヤには雄花と雌花があります。雌花には、花の下に小さなゴーヤがついているので、簡単に見分けられます。
- 先に雄花が咲きはじめ、後から雌花が咲きます。
- 確実に実をつけさせるために、人工的に受粉します。雄花を摘み取って、雌花に花粉をつけましょう。

ポイント

ネット全体につるが伸び、葉が茂るためには、ある程度成長するまで雌花を摘み取ってもよいでしょう。

実の収穫

- ゴーヤは、7月下旬から9月上旬頃まで収穫できます。
- 花が咲いてから 2～3 週間後収穫できるようになります。イボイボが膨らんで、谷間の緑色が薄くなってきたら収穫しましょう。

種とり

- 種取り用の実は、収穫せず残しておきましょう。ゴーヤの実が完熟すると赤褐色になり、自然に実が割れて、中から種が出てきます。
- 種は、水洗いして表面のぬるぬる (種衣) を取り除き、天日で乾燥させます。十分に乾燥させたら、紙袋に入れて密封し、冷蔵庫や冷暗所で保存しましょう (ただし、ここで取った種は、翌年うまく育たない場合があります)。



片付け

- 10月頃に、片付けをします。
- ネットに絡んだつるを外して、根も抜きます。ネットや支柱も取り外して片付けましょう。

